

さいたま市立大宮西高等学校の関田でございます。甚だ僭越ではございますが、インターアクトクラブ顧問教師会会長として一言ご挨拶申し上げます。

本日ここに、第28回国際ロータリー第2770地区インターアクト年次大会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。本大会は、スポンサークラブである浦和ロータリークラブのご支援をいただき、井原 實ガバナーをお迎えし、インターアクトクラブ顧問教師会幹事長として日頃たいへんお骨折りいただいている玉川先生の浦和実業学園高等学校が主催校として運営されます。関係者の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

さて、今回の大会テーマは「Be a gift to the world 世界へのギフトになろう」です。「Give」ではなく「Be」であるところが、実にインターアクトクラブの真髄ではないかと感じております。

一昨年、内閣府の「子ども・子育て会議」委員であった駒崎弘樹氏が新聞の取材に答えて、これからの時代を生きていくのに必要な力は「学び続ける力」「コラボする力」「問題を見つけて試行錯誤する力」だとおっしゃっていました。「学び続ける力」とは、世の中の変化に応じて社会に出てからも常に学び続ける力、1つのスキルが陳腐化しても次につなげていく力です。「コラボする力」とは、意見や価値観、文化や国籍の違う人たちと対等に一緒に仕事をしていく中で、それまでにない成果を出していく力です。「問題を見つけて試行錯誤する力」とは、「これは課題ではないだろうか」と気づき、まだ答えがないものに仮説を立て、やってみて失敗して、また試してみても答えに近づく力です。

学び続け、他者とコラボし、試行錯誤することができて、はじめて未知である未来を切り拓いていける、まさにインターアクトクラブの活動そのものではないでしょうか。

昨今、各方面で目にし、耳にすることの多いグローバル化は、国際社会において自国の利益のみを追求するものでも、国際競争に打ち勝つことを目指すものでもないことは、言うまでもありません。むしろ、文化や国籍の違う人たちと手を携えて、平和でより善い世界を構築していこうとするもののはずです。

本日参加している高校生の皆さんが、その担い手として、また近未来のリーダーとして、大きく成長していくことを期待しております。さあ、あなた方一人一人が、誰でもないあなた自身が、今こそ世界へのギフトになる時です！ 皆さん、がんばりましょう！

結びに、日ごろインターアクトクラブに多大なるご支援を賜っておりますロータリアンの皆様、芹川校長先生はじめ浦和実業学園高等学校並びにご講演をいただく河東田先生ほか浦和大学のご関係の皆様、さいたま市及び埼玉県のご関係の皆様ほか、本会の関係の皆様方に改めて心よりの感謝を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。